

嬉総第159号の12
令和5年7月24日

嬉野市議会議長 辻 浩一 様

嬉野市長 村上 大祐
(公 印 省 略)

文書質問について(回答)

嬉野市議会基本条例第7条第3号の規定に基づく文書質問につき、下記により回答いたします。

記

提出者 嬉野市議会議員(議席番号14番) 田中 政司

(質問事項)

茶業振興対策について

(質問の要旨)

令和5年産の1番茶の生産、取引もほぼ完了しているが、市の基幹作物である「うれしの茶」のこれからの振興対策について以下、質問する。

① 本年産1番茶の生産量、取引高、荒茶の平均単価等は対前年比でどうだったのか。

(回答)

茶業振興課

本年度の1番茶については、嬉野地区での前年比で、数量— 前年比 94%、金額— 前年度比90%、平均で96%となりました。

② 肥料や燃料の高騰により生産費が増大し、茶生産農家は厳しい経営状況である。国や県、市の支援策については令和5年度も継続していただきたいと考えるが状況はどうなっているのか。

(回答)

茶業振興課

現時点では、昨年11月から今年5月までの春肥については、国・県・市において支援をしていますが、今年度の秋肥以降については、5月30日の日本農業新聞にも掲載のとおり、堆肥や下水汚泥といった国内資源を活用し、化学肥料を低減する取り組みを

支援する対策を検討する考えを示してあり、肥料代の直接的な補填につきましては、肥料の小売価格の動向や農業経営の影響を見極めて慎重に判断する旨の方針が示されておりました。

今後、国・県の動向を見て対応してまいります。

- ③ 「うれしの茶」としてのブランドは、釜炒り茶や蒸し製玉緑茶として全国的に認知度は高い。販売力を高め、消費量を増やしていくことが荒茶価格や生産量の維持につながる。そのための有効な対策を行政としても早急におこなうべきと考えるが如何か。

(回答)

茶業振興課

本市では、888事業の中で生産部会、流通部会に分かれ 協議する場を設けております。

また、流通部会では、県、茶連、茶商、JA、市10名ほどのメンバーでコロナ禍明け試飲ありの催事も打てるようになったことから、議員が質問されているように有効的な対策、イベント、PRはどのようなものか、検討・協議しているところです。

先日、開催されました会議の内容として、友好的なPR方法、ポスターではなくSNSではないかとか、嬉野市での友好的な催事、春先一番茶中の新茶をアピールした催事は難しいが、出来るだけ早く、また茶農家さんの協力は必須だけれども各団体協力して催事を打てないか、「息の長い催事にするには」といった内容がありました。

今後、各団体のご意見を聞き、うれしの茶活性化委員会の議案にあげ、態勢作りから協議・検討していかなければならないと考えています。

また、先日行われた2024年国スポのリハ大会で「お茶のふるまいコーナー」を設置したところ、特になぎなたでは女性が多いことから、美味しいという感想が多々ありました。その際、お茶・冷茶の作り方等を説明し、ひと手間が大事であることをお伝えしたところです。

加えて、リーフ茶で出したお茶のおいしさ、小学生等の茶育、地道な草の根的活動ですが、そちらの方も継続して行っていきたいと考えています。

一方で、全国茶品評会の結果も数か月後となりましたので、友好的なPR等を関係機関が協力し合って知恵を絞りあって少しでも販売増、消費増につながる取り組みを検討していきたいと考えています。

追加項目（③に関連して）

- ① 令和5年度当初予算においても「うれしの茶産地振興支援事業」や「うれしの茶需要拡大対策事業」が予算化されている。子供たちへの茶育活動は大切であり効果も期待するが、PR等による茶の消費拡大については、効果が表れていないと思う。今後は、市が主催している嬉野茶活性化委員会が主体となった消費拡大、販売促進のための事業（うれしの茶市等）を考えては如何か。

(回答)

茶業振興課

消費拡大及び販売促進のための事業（うれしの茶市等）については、今年度第1回のうれしの茶活性化委員会の議題としております。

運営体制、開催時期等検討し息の長いイベントになるよう協議して参ります。

- ② 荒茶価格の低迷で茶生産者の経営状況は非常に厳しく、このままでは数年後には嬉野茶の存続さえ危ぶまれる状況である。そこでJAの茶業部会や茶業青年会がJA本所に対し、JAの組織力等を活かした茶販売力の強化策を求める要望書を提出されると伺っている。

行政としても茶業部会やJAと協議し、行政として可能な支援策を講じるべきと考えるが如何か。

(回答)

茶業振興課

この問題についても、第1回うれしの茶活性化委員会で「うれしの茶販売促進に繋がる振興策について」ということで議題となっておりますので、対策を検討・講じて参りたいと思っております。